

学校だより

プラタナス



令和4年2月3日(木)

市川市立市川小学校

No.30 校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>



正しく恐れ、適切な対応を！

第6波と言われるオミクロン株を中心とした新型コロナウイルス感染症により、学級閉鎖や家族の感染による登校できない状況が増えています。市内公立小中学校等において、昨年度の休校明け6月から昨年末までの19か月と今年1月とを比べてみますと、感染者数がすでに上回り、学級閉鎖数は8倍強という驚異的な数値が打ち出されます。ただし、学級閉鎖については基準が異なるため、単純比較をすることはできません。

東京都の新規感染者の4分の1は、18歳以下であると報じられるとおり、本校でも児童本人の感染だけでなく、弟妹（家族）の感染による濃厚接触者となって自宅待機のケースも多々見られます。保健所が逼迫し、電話が繋がらない状況がある中、本人に感染がない場合、「いつから登校してよいか」を迷うことがあるのではないのでしょうか。そこで、目安を示しますのでご相談ください。

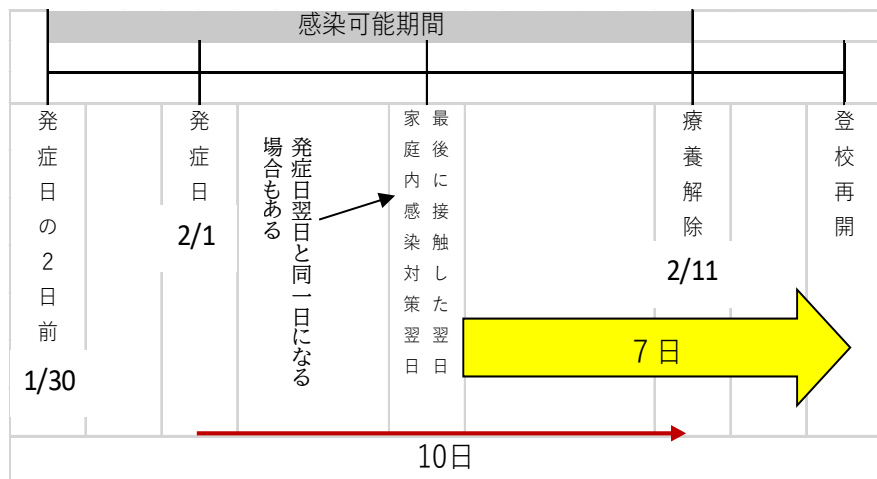


【濃厚接触者の自宅待機の目安は？】

健康観察期間中に体調不良（発症等）のない児童生徒は、健康観察期間終了後、校長の判断で登校させることができる。

【健康観察期間とは？】

患者の感染可能期間（発症日2日前から療養解除までの期間）内において、患者と接触した日を0日として、その翌日から7日間をいう。ただし、10日が経過するまでは健康状態に注意する。



■発症日が2月1日の時

- ➡療養解除は2月12日
- ➡生活動線が一緒の場合は原則2月17日まで登校不可

※発症日から17日間登校できない

■発症判明から適切対応した時

- ➡登校再開は最短で2月9日

※患者との生活空間をきちんと分けたり家庭内感染対策をしたりして対応が早ければ、登校再開が早まります。

【健康観察期間中の過ごし方】

厚生省発表を参照にしてください

- * 不要不急の外出はできるだけ控える。家庭内でもマスク着用・手指消毒を徹底する。
- * 発熱や咳、倦怠感などの症状に注意し、これらの症状がある場合はかかりつけ医に相談する。
- * 「濃厚接触者」とは、家族・親族の場合、同居あるいは長期間の接触があった者を指す。

今、学校の感染対策はなにを？

市川市のガイドラインに沿って、学習活動等を止めないために教職員・児童皆が務めています。しかしながら、教室や廊下、校庭の広さなどによって、また全校児童数や学級の人数によって「できること」「許容範囲」が学校によって違いがあることも確かです。

本校では、児童の健康・安全、ひいては生命を守り育てるために様々な取り組みをするとともに環境整備に努めています。下はその一例です。



<左から順に>

▽サーキュレーター

➡全教室に配備

▽加湿器

➡全教室に配備

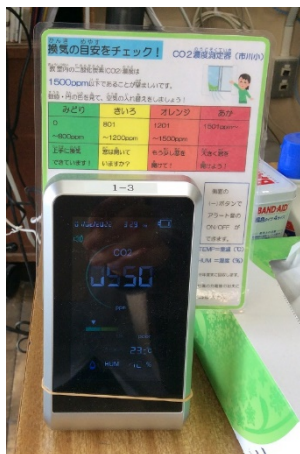
▽アルコール消毒薬

➡各教室に設置

➡加湿器は今年度

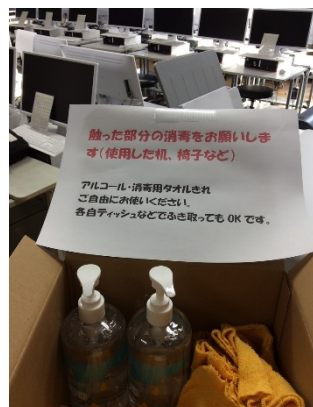
ベルマークで追加購入

(左) 二酸化炭素濃度測定器
(中央) 空気清浄機
(右) 換気を促す表示札



教室校庭側&廊下側の天窓

全教室の窓に換気の表示をして、対角線上に空気が流れるようにしています。空気清浄機は、主に特別教室に設置しています。全部で10台が稼働しています。冬は寒いので、扉を閉めたりエアコンで温度調節をしたりしますが、空気の汚れがないかチェックするために測定機を導入しました。子供たちにもわかるように説明が添えられています。



(左) 全教室の水道にハンドソープを常備し、一部レバー式の蛇口に交換しています。こまめな手洗いを励行するとともに、4・5年生対象にLIONによる「手洗い教室」も実施しました。

(右) 特別教室は複数学級、複数学年にわたって使用するため、使用後の消毒は欠かせません。アルコールとタオルを使って、触れた部分や椅子などをきれいにしています。